(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)特許出願公表番号
特表2019-511421
(P2019-511421A)
(43)公表日　平成31年4月25日(2019.4.25)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
B67D	1/06	(2006.01)	B67D	1/06		3E082
B67D	1/08	(2006.01)	B67D	1/08	Z	

審査請求 未請求　予備審査請求 未請求　（全 13 頁）

(21)出願番号　特願2018-539130 (P2018-539130)
(86)(22)出願日　平成29年1月29日 (2017.1.29)
(85)翻訳文提出日　平成30年8月7日 (2018.8.7)
(86)国際出願番号　PCT/IL2017/050102
(87)国際公開番号　WO2017/141230
(87)国際公開日　平成29年8月24日 (2017.8.24)
(31)優先権主張番号　244138
(32)優先日　平成28年2月15日 (2016.2.15)
(33)優先権主張国　イスラエル(IL)

(71)出願人　518260840
ペサホブ，シュムエル
イスラエル国，８４７４７１０　ベエルシェバ，９０／３　スデロット　イーリム
(74)代理人　100114775
弁理士　高岡　亮一
(74)代理人　100121511
弁理士　小田　直
(74)代理人　100202751
弁理士　岩堀　明代
(74)代理人　100191086
弁理士　高橋　香元
(72)発明者　アブラモブ，ラファエル
イスラエル国，７５９１４４７　リション　レジオン，４９　ナハマニ　ストリート
最終頁に続く

(54)【発明の名称】容器を保持するためのシステム

(57)【要約】
少なくとも１つの容器を保持するためのシステムは、前記容器を把持するように構成された少なくとも１つのホルダと、固定位置に取り付け可能であるベース部分と、前記ホルダに接続可能である遠位端とを有する引き込み機構とを備え、前記ホルダは、前記引き込み機構によって、通常の引き込み位置と伸長位置との間で変位可能であり、それによって、前記引き込み機構の前記長さが前記伸長位置において、前記引き込み位置における前記長さよりも増大するようにされる。
【選択図】図３Ａ

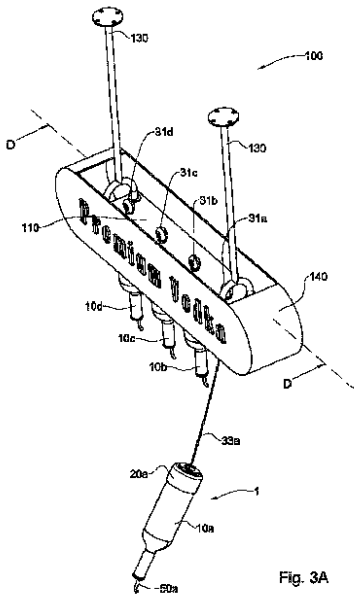


Fig. 3A

【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１つの容器を保持するためのシステムであって、
前記容器を把持するように構成された少なくとも１つのホルダと、
固定位置に取り付け可能であるベース部分と、前記ホルダに接続可能である遠位端とを有する引き込み機構であって、前記ホルダが、前記引き込み機構によって、通常の引き込み位置と伸長位置との間で変位可能であり、それによって、前記引き込み機構の長さが前記伸長位置において、前記引き込み位置における長さよりも増大するようにされる、引き込み機構と、を備える、システム。
【請求項２】
前記伸長位置において、前記ホルダが、前記ベース部分から、前記引き込み位置における範囲を上回る間隔を置かれて配置される、請求項１に記載のシステム。
【請求項３】
前記固定位置を構成するハウジングであって、前記ベース部分が前記ハウジングに取り付け可能となる、ハウジングをさらに備える、請求項１または２に記載のシステム。
【請求項４】
前記ハウジングが、前記ホルダがその引き込み位置と伸長位置との間で通過することを可能にするための少なくとも１つの開口をその底に有するケージを備え、それによって、前記引き込み位置において、前記ホルダの少なくとも一部が、ケージ内部に配設される、請求項３に記載のシステム。
【請求項５】
前記ハウジングが、前記ホルダをその伸長位置からその引き込み位置まで変位させるとき、前記ハウジングに対する前記ホルダの移動の範囲を定めるように構成された停止要素を備える、請求項４に記載のシステム。
【請求項６】
前記停止要素が、前記少なくとも１つのホルダの引き込み位置において前記少なくとも１つのホルダに係合するように構成されたストッパ底面と、反対側のストッパ上面とを有する、請求項５に記載のシステム。
【請求項７】
前記ストッパ底面が、平面である、請求項５または６に記載のシステム。
【請求項８】
前記停止要素が、前記ケージの上側部分を構成する、請求項５～７に記載のシステム。
【請求項９】
前記引き込み機構の前記ベース部分が、前記停止要素に取り付け可能である、請求項５～８のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１０】
前記引き込み機構が、前記ベース部分を構成するばね巻きリールと、その上に巻き付けられ、前記ホルダに接続可能な前記遠位端を有するケーブルとを備える、請求項１～９のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１１】
前記ケーブルが、前記伸長位置において、少なくとも前記引き込み機構の長さである長さを有する、請求項１０に記載のシステム。
【請求項１２】
前記停止要素が、前記ストッパ底面と前記ストッパ上面との間に延在し、それによって、前記ばね巻きリールが前記ストッパ上面に配設され、前記ケーブルが通路を通過するようにされる、通路をさらに備える、請求項５に従属する場合の請求項１０または１１に記載のシステム。
【請求項１３】
前記ホルダが、ホルダ底からホルダ周縁まで延在し、前記ホルダ縁を介して前記容器の底部分を受け入れ、前記容器を前記容器の上下逆の位置で把持するように構成されたホル

ダ内部空間をともに画定する１つ以上の側壁を有する、請求項１～１２のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１４】
前記遠位端が、前記ホルダ底の中央に接続可能である、請求項１３に記載のシステム。
【請求項１５】
前記ホルダが、前記容器を前記ホルダに拘束するように構成された把持機構を備える、請求項１３または１４に記載のシステム。
【請求項１６】
前記１つ以上の側壁が、前記容器の前記底部分の形状及びサイズに対応する形状及びサイズを有することによって、かつ前記容器の前記底部分を摩擦で導入して係合させることを可能にする摩擦係数を有することによって、前記容器を把持するための前記把持機構を構成する内面を有する、請求項１５に記載のシステム。
【請求項１７】
前記ホルダ内部空間が、前記ホルダ縁の近傍であり、第１の直径Ｄｌを有する第１のサブ空間と、Ｄｌよりも小さい第２の直径Ｄ２を有する、連続する第２のサブ空間とを有する、請求項１３～１６のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１８】
前記ハウジングから延在し、前記ハウジングを外部要素に取り付けるための取付構造をさらに備える、請求項２～１７のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１９】
前記容器の開口に取り付け可能な注出口をさらに備える、請求項１～１８のいずれか１項に記載のシステム。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本開示の主題は、容器、特に物体を分配するための容器を保持することを可能にするシステムの分野に関する。
【背景技術】
【０００２】
ボトル等の容器は、多くの分野で使用されている。それらの分野のうちの１つは、バーでサーブされるアルコール液である。この分野には、複数のボトルが、引き込みされるための能力なしに上下逆に配設される「バーバトル」と呼ばれる定置型のボトルホルダがある。ボトル内部の液体をサーブするために、ユーザは、それによって液体がボトルから流れることを可能にする注出口を作動させなければならない。「バーバトル」内のボトルは、引き込み可能ではなく、そのためバーテンダーによって使用されるために便利ではない場合がある。
【発明の概要】
【課題を解決するための手段】
【０００３】
本開示の主題の一態様によれば、少なくとも１つの容器を保持するためのシステムが提供され、
上記容器を把持するように構成された少なくとも１つのホルダと、
固定位置に取り付け可能であるベース部分と、前記ホルダに接続可能である遠位端とを有する引き込み機構と、を備える。
【０００４】
ホルダは、上記引き込み機構によって、通常の引き込み位置と伸長位置との間で変位可能であり、それによって、上記伸長位置における上記引き込み機構の上記長さが、上記引き込み位置における上長さよりも増大するようにされる。特に、上記ホルダは、上記ベース部分から、上記引き込み位置における範囲を上回る間隔を置かれて配置されることができる。

【０００５】
用語「容器」は、以下、物品、または任意の他の物体、例えば液体を収容することが可能である任意の入れ物を指し、例えば、さまざまなタイプの液体（例えば、アルコール液）を収納するように構成されたボトルであることができる。
【０００６】
本開示の主題は、液体を含む容器が使用されるさまざまな分野で使用されることができる。本開示の主題を使用することによって、液体は、要求を受けて、便利な方法でユーザに供給されることができる。これらの分野は、例えばバーまたはキッチンを含み、ユーザは、例えばバーテンダーまたはコックであることができる。バーテンダーによってバーで使用される場合、ボトルの形式の容器を、作業空間（例えば、バーのテーブル）の上方、かつバーテンダーの視線の上方のホルダに取り付けることができる。バーテンダーがその液体をサーブするためにボトルを使用することを意図する場合、バーテンダーは、作業空間に向かって自分の手でボトルを引っ張ることができる。いったんこの動作が達成されると、ボトルは、その通常の引き込み位置に自動的に戻る。本開示の主題の上述の構造及び意図された使用は、作業空間を節約すると同時に、バーテンダーと客との間の視認を提供することを考慮している。加えて、引き込み機構が自動的な動作であることで時間を節約させ、このことは、バーテンダーの、またはコックの作業中の非常に重要な要因である。
【０００７】
本システムは、ベース部分が前記ハウジングに取り付け可能であるようにするように、固定位置を構成するハウジングをさらに備えることができる。
【０００８】
ハウジングは、ホルダがその引き込み位置と伸長位置との間で通過することを可能にするための少なくとも１つの開口をその底に有するケージを備えることができ、それによって、上記引き込み位置において、ホルダの少なくとも一部が、ケージ内部に配設される。
【０００９】
ハウジングは、ホルダをその伸長位置からその引き込み位置まで変位させるとき、上記ハウジングに対するホルダの移動の範囲を定めるように構成された停止要素を備えることができる。停止要素は、ホルダの引き込み位置において上記少なくとも１つのホルダに係合するように構成されたストッパ底面と、反対側のストッパ上面とを有する。停止要素が、ケージの上側部分を構成することができ、引き込み機構のベース部分は、停止要素に取り付けられることができる。
【００１０】
引き込み機構は、上記ベース部分を構成するばね巻きリールと、その上に巻き付けられ、ホルダに接続可能な前記遠位端を有するケーブルとを備えることができる。停止要素は、上記ストッパ底面と上記ストッパ上面との間に延在する通路をさらに備えることができ、それによって、ばね巻きリールが上記ストッパ上面に配設されると、ケーブルが上記通路を通過することができる。
【００１１】
ホルダは、ホルダ底からホルダ周縁まで延在し、前記ホルダ縁を介して前記容器の底部分を受け入れ、容器を前記容器の上下逆の位置で把持するように構成されたホルダ内部空間をともに画定する１つ以上の側壁を有することができる。引き込み機構の遠位端は、前記ホルダ底の中央に接続可能であることができる。ホルダの上記構造、及び特に引き込み機構の遠位端がホルダ底の中央に接続されることができることは、通常の引き込み位置にある間、容器を上下逆の位置で把持することを可能にする。
【００１２】
ホルダは、上記容器を上記ホルダに拘束するように構成された把持機構をさらに備えることができる。クランピングは、締め付け機構によってなされることができ、これは作動中、ホルダに対する容器の移動を防止するために、容器をしっかりと把持する。１つ以上の側壁は、容器の底部分の形状及びサイズに対応する形状及びサイズを有することによって、かつ容器の底部分を摩擦で導入して係合させることを可能にする摩擦係数を有するこ

とによって、容器を把持するための把持機構を構成する内面を有する。把持機構の上記構造は、容器が上下逆に保持されている間、ホルダから滑り落ちることを防止する。

【００１３】

ホルダ内部空間は、前記ホルダ縁の近傍であり、第１の直径Ｄｌを有する第１のサブ空間と、Ｄｌよりも小さい第２の直径Ｄ２を有する、連続する第２のサブ空間とで構成されることができる。この２つのサブ空間の構造は、幅が異なる２つの容器を保持するために単一のホルダを使用することを可能にする。

【００１４】

本システムは、ハウジングから延在し、ハウジングを外部要素に取り付けるための取付構造をさらに備えることができる。

【００１５】

本システムは、容器が上下逆である場合、容器内の液体の流れを制御するために、前記容器の開口に取り付け可能な注出口をさらに備えることができる。

【００１６】

本明細書に開示された本主題をよりよく理解し、どのようにして実際に実行され得るかを例証するために、ここで、非限定的な例示のみを目的として、添付の図面を参照して実施形態が記載される。

【図面の簡単な説明】

【００１７】

【図１】本開示の主題の一例による、容器を保持するためのシステムの等角図である。

【図２】内部に容器を受け入れていない、図１のシステムのホルダの拡大等角図である。

【図３Ａ】本開示の主題の別の例による、システムの上側等角図である。

【図３Ｂ】図３Ａに示されたシステムの底面等角図である。

【図３Ｃ】図３Ａに示されたシステムの上側等角図であり、そのハウジングカバーは透過している。

【図３Ｄ】平面Ｄ－Ｄに沿って取られた、図３Ａに示されたシステムの断面図である。

【図４Ａ】本開示の主題の別の例による、ホルダの別の例である。

【図４Ｂ】平面Ｅ－Ｅに沿って取られた、図４Ａのホルダの断面図である。

【発明を実施するための形態】

【００１８】

ここで、本開示の主題の一例による、ボトル１０の形の容器を保持するためのシステム１が示される図１及び２について述べる。

【００１９】

システム１は、ボトル１０を上下逆の位置で把持するように構成されたホルダ２０と、ホルダ２０に接続された引き込み機構３０とを備える。ボトル１０は、アルコール飲料を収容し、システム１は、バー内のバーテンダーによって、バーテンダーの作業空間（図示せず）および視線の上方で使用されることができる。バーテンダーが、ボトルの液体をサーブするためにボトル１０を使用することを望む場合、バーテンダーは、ボトル１０をそのホルダ２０とともに作業空間に向かって自分の手で引っ張り、その後ボトルを使用することができる。ボトル１０は、その開口１２に取り付けられた注出口５０を備えて構成され、それによって、バーテンダーによって使用されたときに、ボトル１０からの液体の流れを制御するようにされる。いったん液体のサーブが達成されると、バーテンダーは、ボトル１０を持ち上げて放すことができ、これは次に、以下に説明するように、引き込み機構３０の動作によって、その通常の引き込み位置に自動的に戻る。

【００２０】

ホルダ２０は、ホルダ底２２からホルダ縁２３まで延在し、ホルダ内部空間２５をともに画定する円形の周辺側壁２１の構造体である。内部空間２５は、ホルダ縁２３を介してボトル１０の底部分（図示せず）を受け入れ、把持機構２６によって、ボトル１０をその上下逆の位置で把持するように構成される。

【００２１】

把持機構２６は、高い摩擦係数を特徴とする、側壁２１の内面２１ａからなる摩擦ベースの機構であり、ボトル１０の底部分の形状及びサイズに対応するような形状及びサイズにされる。この把持機構２６の構造体は、ボトル１０を把持している間に、ボトル１０がホルダ２０から滑り落ちることを防止する。例えば、把持機構２６は、ゴム材で作られることができる。

【００２２】

図１に示される引き込み機構３０は、固定位置（図示せず）に取り付け可能であるエンクロージャ３１の形のベース部分と、ハウジングから延在し、ホルダ２０に接続された遠位端３２を有するケーブル３３とを有する。特に、遠位端３２は、ホルダ底２２の中央に接続される。エンクロージャ３１は、ケーブル３３が巻き付けられた、ばね巻き状リール（図示せず）エンクロージャ３１を有する。

【００２３】

ホルダ２０は、ケーブル３３と引き込み機構３０のばね巻き状リールとによって、通常の引き込み位置（４つの容器のうち３つに関して図３Ａ～３Ｄに示される）と伸長位置（図１に示される）との間で変位可能である。図面から明確に理解されるように、引き込み機構３０の長さは、伸長位置において、引き込み位置における長さを超えて増大する。特に、伸長位置において、ホルダ２０は、エンクロージャ３１から、引き込み位置における間隔を上回る間隔を置かれて配置される。

【００２４】

図３Ａ～３Ｄに示された本開示の主題の別の例によれば、複数のシステム１を含むシステム１００が提供される。システム１によって示唆されているように、単一のホルダによって１本のボトルのみを保持することに代えて、システム１００には、複数のボトル１０ａ～ｄをそれぞれ保持するための複数のホルダ２０ａ～ｄが設けられ、その間、ホルダ２０ａ～ｄの各々は引き込み位置と伸長位置との間で変位可能である。

【００２５】

システム１００は、複数のエンクロージャ３１ａ～ｄが取り付けられる固定位置を構成するハウジング１１０（図３Ｃで最もよくわかる）を有する。

【００２６】

ハウジング１１０は、剛性ケージ１１１（図３Ｃ及び３Ｄに示される）と、その内部に受け入れられて、剛性ケージ１１１によって支持される停止要素１１４とを備える。剛性ケージ１１１は、剛性フレーム部材及び上部部材１１５で構成される。

【００２７】

停止要素１１４は、開口１１２ａ～ｄによって画定された、ホルダ２０ａ～ｄをそれらの引き込み位置においてボトル１０ａ～ｄとともに収容するための内部空間１１３ａ～ｄを有する複数の開口１１２ａ～ｄを有する。内部空間１１３ａ～ｄは、ホルダ２０ａ～ｄをそれらの伸長位置からそれらの引き込み位置まで変位させるとき、ホルダの移動の範囲を定めるように構成された、それぞれのストッパ底面１１４ａ～ｄを有する。停止要素１１４ａ～ｄは、例えば軟質発泡体等の軟質な材料で作られ、これはホルダ２０ａ～ｄが停止要素１１４と接触して、それらの対応する内部空間１１３ａ～ｄの中に入るとき、それらのためのショックアブソーバとして機能する。

【００２８】

上部部材１１５は、上部部材１１５の外部とストッパ底面１１４ａ～ｄとの間に延在する複数の通路１１８ａ～ｄを有し、それによって、エンクロージャ３１ａ～ｄが、上部部材１１５の上方に配設され、ケーブル３３ａ～ｄが通路１１８ａ～ｄを通過するようにされる。

【００２９】

システム１００は、ハウジング１１０の上部部材１１５から延在する、システム１００を外部要素、例えば天井（図示せず）に取り付けるための取付構造１３０をさらに備える。

【００３０】

システム１００は、ハウジング１１０を取り囲むハウジングカバー１４０をさらに備える。ハウジングカバー１４０は、装飾要素を構成し、その外面は、広告または任意の他の通知を目的として使用されることができる。

【００３１】

ここで、ホルダ縁２２３の近傍であり、第１の直径Ｄｌを有する第１のサブ空間２２５ａと、Ｄｌよりも小さい第２の直径Ｄ２を有する、連続する第２のサブ空間２２５ｂとを有する内部空間２２５を備えて構成されたホルダ２２０の別の例を示す図４Ａ及び４Ｂについて述べる。この２つのサブ空間の構造は、単一のホルダ２２０を使用して、２つの異なる直径、すなわち直径Ｄｌ及び直径Ｄ２を有する２つのタイプのボトルを保持することを考慮している。

【図１】

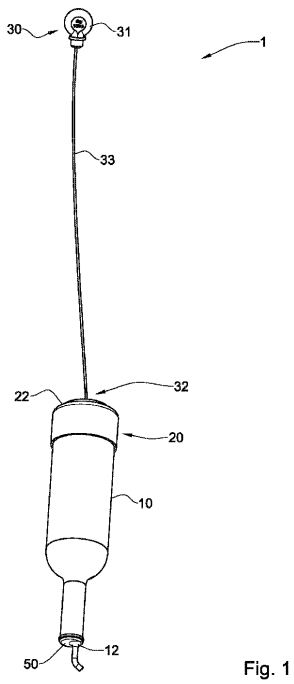


Fig. 1

【図２】

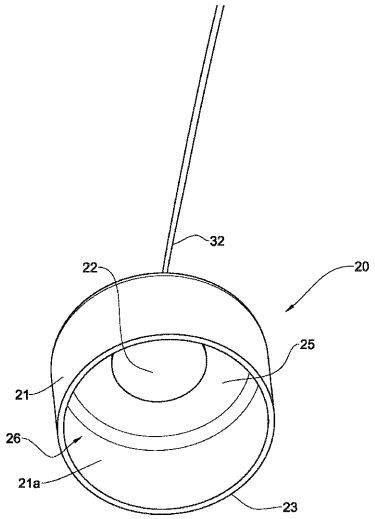


Fig. 2

【図３Ａ】

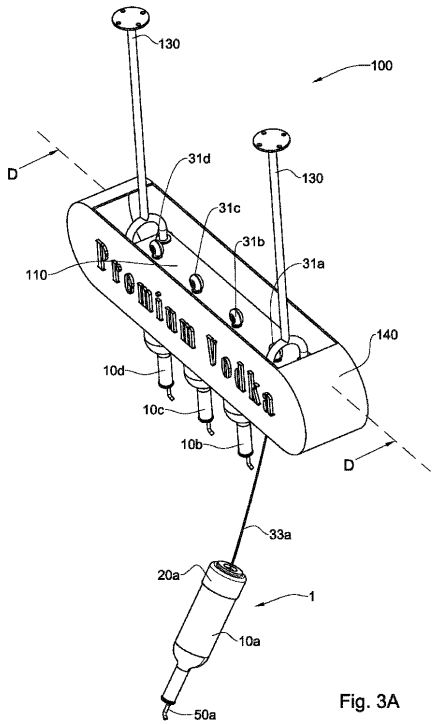


Fig. 3A

【図３Ｂ】

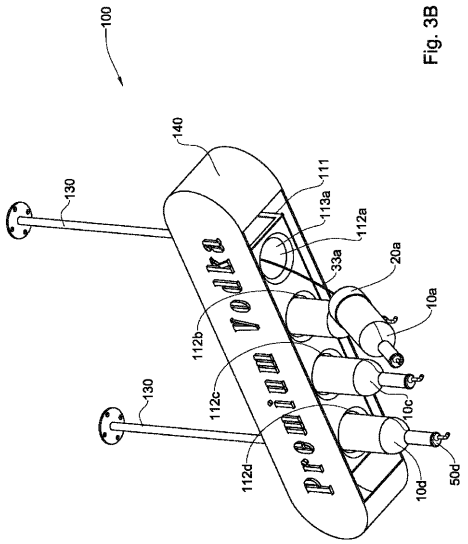


Fig. 3B

【図３Ｃ】

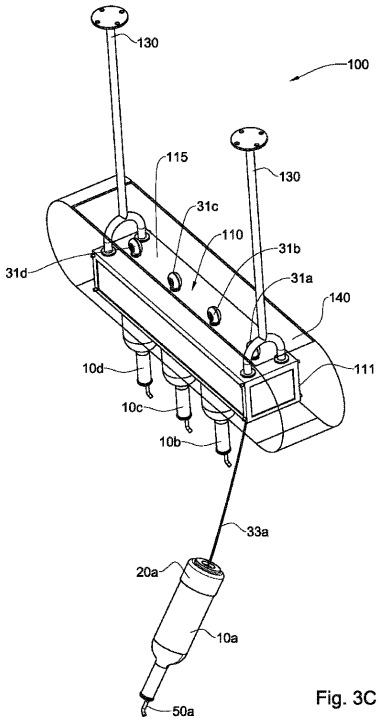


Fig. 3C

【図３Ｄ】

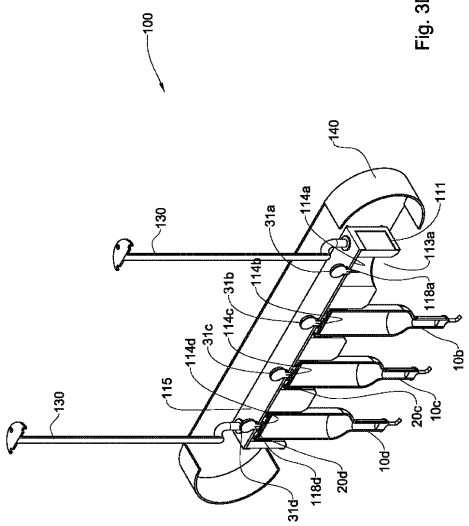


Fig. 3D

【図４Ａ】

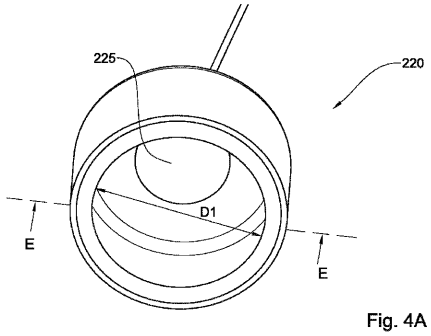


Fig. 4A

【図４Ｂ】

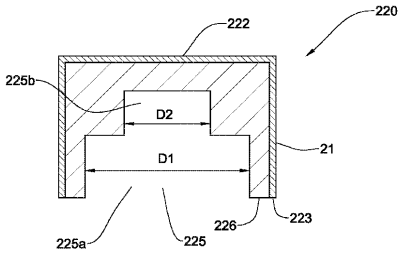


Fig. 4B

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/IL2017/050102

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
IPC (2017.01) A45F 5/00, A47J 43/28, A47J 47/16

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
IPC (2017.01) A45F 5/00, A47J 43/28, A47J 47/16

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)
Databases consulted: Esp@cenet, Google Patents, FamPat database

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	US 6467736 B1 CHIANG JENCHIEH 22 Oct 2002 (2002/10/22) The whole document	1-12,18,19
Y	The whole document	13-17
X	US 5971238 A MALVASI, GIUSEPPE; POLACCI, MARINA 22 Oct 1999 (1999/10/22) The whole document	1-12,18,19
Y	The whole document	13-17
Y	US 2004026556 A1 KISH LOUIS A 12 Feb 2004 (2004/02/12) The whole document	13-17
A	US 2002162918 A1 SUH SIMON; E-Z BABY PRODUCTS LLC 07 Nov 2002 (2002/11/07) The whole document	1-19

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C. ☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:
"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance
"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date
"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means
"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed
"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention
"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone
"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art
"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
07 May 2017	08 May 2017
Name and mailing address of the ISA: Israel Patent Office Technology Park, Bldg.5, Malcha, Jerusalem, 9695101, Israel Facsimile No. 972-2-5651616	Authorized officer BITTON Oren Telephone No. 972-2-5657812

Form PCT/ISA/210 (second sheet) (January 2015)

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/IL2017/050102

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
A	US 1692098 A SULLIVAN MAURICE S 20 Nov 1928 (1928/11/20) The whole document	1-19
A	US 2517829 A WESLEY BECKOVICH 08 Aug 1950 (1950/08/08) The whole document	1-19

INTERNATIONAL SEARCH REPORT
Information on patent family members

International application No.
PCT/IL2017/050102

Patent document cited search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication Date
US 6467736 B1	22 Oct 2002	US 6467736 B1	22 Oct 2002
US 5971238 A	22 Oct 1999	US 5971238 A	26 Oct 1999
US 2004026556 A1	12 Feb 2004	US 2004026556 A1	12 Feb 2004
		US 6854681 B2	15 Feb 2005
		US 6988344 B1	24 Jan 2006
		US 2005103917 A1	19 May 2005
		US 7270289 B2	18 Sep 2007
US 2002162918 A1	07 Nov 2002	US 2002162918 A1	07 Nov 2002
		US 6598838 B2	29 Jul 2003
		AU 2002243925 A1	18 Nov 2002
		AU 2002243925 A8	30 Jul 2009
		KR 20030089718 A	22 Nov 2003
		WO 02089641 A2	14 Nov 2002
		WO 02089641 A3	11 Jun 2009
US 1692098 A	20 Nov 1928	US 1692098 A	20 Nov 1928
US 2517829 A	08 Aug 1950	US 2517829 A	08 Aug 1950

Form PCT/ISA/210 (patent family annex) (January 2015)

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,RW,SD,SL,ST,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,KM,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BN,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DJ,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IR,IS,JP,KE,KG,KH,KN,KP,KR,KW,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PA,PE,PG,PH,PL,PT,QA,RO,RS,RU,RW,SA,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ

Ｆターム(参考) 3E082 AA01 BB05 CC01 FF09